

ましみずの里

No. 13
R2. 10. 16
校長
海老洋一

～自ら学び ともに伸びる～ 自ら考え表現し合い・自ら開きわかり合い・自ら挑み高め合う子どもを育てます



徒競走記録会（10/7）を実施

マスク
をして
応援！



子供達の感染予防を最優先に、密を避け、今年度は2学年ごとの徒競走記録会を開催しました。各学年とも6レーン中、間隔をとって3人で走り、「自己新記録」をめざしました。どう走ったら、自分のタイムを縮めることができるのか、この1ヶ月間、学習に取り組んできました。保護者の皆様にも、本記録会の主旨をご理解いただき、マスク着用や間隔をとりながら、たくさんの応援をいただき、感謝申し上げます。各学年の子供達のがんばりや学習のふりかえりを紹介します。



1年生 ★手をふって、あしをあげて、まえもむいてはあったよ。ゴールまでいったら、きもちよかったよ。みんなのおうえんがきこえたから、がんばってゴールまではあったよ。(男子WH)
★6ねんせいは、すごくはよかったよ。いろんなひとのおうえんで、きのうより「じぶんにかてた」と、おもいました。きのうとちがううごきかたをかながえて、はしりました。(女子SS)

2年生 ★8月26日は15秒62、9月16日は足と手を大きくふって走りました。23日はスタートがはやくなりました。記録会のめあては、「足と手をふって、前の16秒62を1秒でもちぢめる。」です。けっかは、足と手を大きくふって走って、14秒89でした。タイムをのばせたのでうれしかったです。(男子SA)



3年生 ★ぼくのためは「17秒いないにしたい。そしてゴールのほうをちゃんと見て走る」です。8月31日は18秒22、9月16日は17秒97、18日は17秒68、23日は18秒16、記録会では18秒09でした。おそくなったけど、今まで練習してきたことをはっきさせて走れたのでよかったです。ぼくは4年生になったら16秒を目標にします。(男子OR)

4年生 ★私の目標はタイムを縮めること、うでは90度にする、まっすぐにゴールを見て走ることです。私の番になって、走る時もまだドキドキしていたけど、夢中で走りました。去年より3秒タイムが縮んでいました。私は「たった3秒なの？」と思ったけど、お母さんは「3秒もタイムを縮められたのはすごいことだよ。まっすぐ前を見て走っていたよ。目標達成おめでとう。」と言ってくれました。来年またタイムを縮められるようにしたいです。(女子AR)



5年生 ★練習中は、「自分との戦いだから、まわりのことは気にしないで走ろう。」とっていました。そして走っている時は、今まで練習したことをむだにしないように全力で走りました。走り終わった後は、「全力を出しきれてよかった。」と思いました。(男子YS)

6年生 ★記録会1か月前は19秒13だったけど、めあてを立て、練習を全力で取り組んだ結果、17秒76まで速く走れるようになりました。「練習は大事なんだな！」と再確認できました。次に走る時も、練習を重ねてもっと速く走れるようになります。(男子UY)



人は誰しも、得意なことや苦手なことがあります。徒競走でも、走るのが速い子どももいれば、苦手な子どももいて当たり前です。競い合う特性がある競技ですが、1年生の「自分にかてた」、5年生の「自分との戦い」の言葉にあるように、「自分のめあてに向かって取り組み、本番で最善を尽くす。競う相手は自分自身。」ということを学んでいく過程に大きな価値があり、それを友達同士で応援し、認め合いながら取り組んだ記録会でした。家でもお子さんのがんばりを認め、ほめてくださるようお願いいたします。